



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 プレス工業株式会社  
コード番号 7246 URL <http://www.presskogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角堂 博茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 矢原 洋

TEL 044-276-3901

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	90,372	2.6	4,679	△13.4	5,015	△4.1	3,341	12.9
25年3月期第2四半期	88,045	11.0	5,400	1.4	5,231	0.5	2,959	△3.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,126百万円 (138.1%) 25年3月期第2四半期 2,572百万円 (△31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	30.76	—
25年3月期第2四半期	27.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	141,260	64,058	41.4	538.57
25年3月期	128,935	58,498	41.6	493.40

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 58,512百万円 25年3月期 53,607百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	177,000	1.1	9,400	5.8	8,900	△7.9	5,000	△10.5	46.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	114,007,210 株	25年3月期	114,007,210 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,363,095 株	25年3月期	5,357,999 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	108,647,386 株	25年3月期2Q	108,653,007 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの自動車関連事業の国内生産は、国内向けは復興需要により前年同期に比べ増加し、輸出は前年同期と同水準となりました。

タイの生産は、好調な需要に支えられ前年同期に比べ増加し、北米の生産も堅調な需要により前年同期と同水準となりました。

建設機械関連事業の国内生産は、国内向けは増加しましたが輸出が大幅に減少したため、前年同期に比べ大幅に減少しました。

中国の生産は、需要の低迷により前年同期に比べ大幅に減少しました。

このような事業環境の中、当社グループは自動化・省人化による生産性向上活動や材料節減・経費削減等の合理化諸施策により、収益基盤の強化を進めております。

また、お客様への供給体制の万全化と生産性の向上を図るべく、日本においては、大型アクスル用のプレス設備や機械加工設備、また溶接設備を新規に導入しました。

海外事業展開につきましては、新規に受注した当社コア商品の生産あるいは生産準備活動をグループ各社において進めており、新たな受注活動にも取り組んでまいります。

- ・タイ：TSPKKグループにおいて、2013年8月に大型トラック用リアアクスルケースの生産を開始。  
次期1tピックアップトラックのフレームを継続受注すると共に、アクスルを新規に受注し、2014年より順次生産予定。
- ・中国：普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司(PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO., LTD)において、2013年10月に新工場が完成し、11月からミニショベル用キャビンの一貫生産を開始。
- ・インドネシア：PT. PK Manufacturing Indonesiaにおいて、2013年1月から建設機械用キャビンの納入を開始し、徐々に生産が増加。  
2014年1月に中・小型トラック用フレーム部品を量産開始予定。
- ・米国：PK U. S. A., INC. において、2014年5月に米系自動車メーカー向けのアクスル部品を生産開始予定。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は903億72百万円（前年同期比2.6%増）となり、営業利益は46億79百万円（前年同期比13.4%減）、経常利益は50億15百万円（前年同期比4.1%減）、四半期純利益は33億41百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (自動車関連事業)

国内の普通トラック需要は33千台と前年同期に比べ増加し、小型トラックも40千台で前年同期に比べ増加となりました。輸出は、普通トラックは前年同期と同水準となりましたが、小型トラックは第1四半期に引き続き北米向けが好調であったため、前年に比べ増加しました。

タイにおいては、1tピックアップトラックの需要が好調だったことにより当社子会社TSPKKグループの売上高は前年同期に比べ増加しました。しかし第2四半期以降は国内需要が一段落しており、TSPKKグループにおいて生産減少への対応を進めております。

米国においては、自動車需要が堅調に推移し、当社子会社PK U. S. A., INC. の売上高は前年同期と同水準となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は789億40百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は58億99百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

#### (建設機械関連事業)

国内向け生産は、復興需要や排ガス規制前の駆け込み需要の継続により堅調に推移しました。輸出は、北米向けが増加したものの東南アジアや中国の需要低迷が継続しました。その結果、当社及び当社子会社協和製作所の売上高は、前年同期に比べ大幅に減少しました。

中国においては、底打ち感はあるものの需要低迷が続いており、当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司(PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.) の売上高は前年同期に比べて大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は125億80百万円（前年同期比28.4%減）、セグメント利益は4億61百万円（前年同期比73.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、1,412億60百万円となり、前連結会計年度末比123億25百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は、772億2百万円となり、前連結会計年度末比67億64百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、640億58百万円となり、前連結会計年度末比55億60百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は41.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日付で公表した予想を変更いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,178	10,326
受取手形及び売掛金	26,344	30,447
商品及び製品	689	678
仕掛品	8,188	9,617
原材料及び貯蔵品	1,104	1,106
未収還付法人税等	245	14
その他	3,121	4,169
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	51,872	56,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,595	10,193
機械装置及び運搬具（純額）	16,601	17,028
土地	31,528	31,671
その他（純額）	10,043	14,250
有形固定資産合計	67,769	73,143
無形固定資産		
その他	301	301
無形固定資産合計	301	301
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,105	11,569
貸倒引当金	△112	△112
投資その他の資産合計	8,992	11,456
固定資産合計	77,063	84,901
資産合計	128,935	141,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,300	24,162
電子記録債務	5,013	5,732
短期借入金	14,342	16,736
未払法人税等	1,192	1,852
賞与引当金	2,546	2,494
引当金	128	67
その他	5,956	6,492
流動負債合計	49,480	57,537
固定負債		
長期借入金	7,626	5,846
再評価に係る繰延税金負債	8,844	8,844
引当金	395	446
資産除去債務	406	406
その他	3,682	4,120
固定負債合計	20,956	19,664
負債合計	70,437	77,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	28,604	31,456
自己株式	△1,187	△1,189
株主資本合計	37,561	40,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,107	1,569
土地再評価差額金	16,013	16,013
為替換算調整勘定	△1,074	517
その他の包括利益累計額合計	16,045	18,100
少数株主持分	4,890	5,546
純資産合計	58,498	64,058
負債純資産合計	128,935	141,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	88,045	90,372
売上原価	77,081	79,581
売上総利益	10,963	10,790
販売費及び一般管理費	5,563	6,111
営業利益	5,400	4,679
営業外収益		
受取利息	40	50
受取配当金	36	56
貸貸収入	46	43
為替差益	—	395
その他	49	17
営業外収益合計	173	563
営業外費用		
支払利息	245	223
為替差損	82	—
その他	13	3
営業外費用合計	342	227
経常利益	5,231	5,015
特別利益		
固定資産売却益	5	6
関係会社清算益	—	418
保険差益	7	0
その他	—	24
特別利益合計	13	449
特別損失		
固定資産除却損	64	48
固定資産売却損	0	0
クレーム費	349	—
子会社清算損	10	—
特別損失合計	424	48
税金等調整前四半期純利益	4,820	5,416
法人税、住民税及び事業税	1,414	1,826
法人税等調整額	271	184
法人税等合計	1,686	2,011
少数株主損益調整前四半期純利益	3,133	3,405
少数株主利益	174	63
四半期純利益	2,959	3,341

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,133	3,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△835	462
為替換算調整勘定	274	2,258
その他の包括利益合計	△561	2,721
四半期包括利益	2,572	6,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,306	5,395
少数株主に係る四半期包括利益	266	730

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,820	5,416
減価償却費	3,117	3,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	△283	△122
受取利息及び受取配当金	△76	△106
支払利息	245	223
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	△5
有形固定資産除却損	64	48
関係会社清算損益(△は益)	—	△418
売上債権の増減額(△は増加)	△588	△2,461
たな卸資産の増減額(△は増加)	557	△531
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,081	2,939
その他	492	△361
小計	7,261	8,177
利息及び配当金の受取額	80	102
利息の支払額	△260	△238
法人税等の還付額	30	271
法人税等の支払額	△3,148	△1,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,963	7,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△630	△485
定期預金の払戻による収入	625	504
子会社出資金の取得による支出	—	△1,420
有形固定資産の取得による支出	△3,663	△7,997
有形固定資産の売却による収入	83	117
投資有価証券の取得による支出	△10	△13
投資有価証券の売却による収入	—	10
投資有価証券の償還による収入	188	—
関係会社の整理による収入	—	573
その他	44	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,363	△8,866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△21	1,278
長期借入れによる収入	1,123	1,692
長期借入金の返済による支出	△2,802	△3,253
少数株主への配当金の支払額	△278	△383
配当金の支払額	△434	△488
少数株主からの払込みによる収入	—	308
その他	△72	54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,486	△791
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,800	△1,876
現金及び現金同等物の期首残高	15,371	11,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,570	9,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	70,717	16,585	87,302	742	88,045	—	88,045
セグメント間の内部売上高又は振替高	436	980	1,417	—	1,417	△1,417	—
計	71,154	17,565	88,720	742	89,462	△1,417	88,045
セグメント利益	5,406	1,731	7,137	48	7,186	△1,785	5,400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,785百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,785百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	77,996	11,707	89,703	669	90,372	—	90,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	944	873	1,817	—	1,817	△1,817	—
計	78,940	12,580	91,520	669	92,189	△1,817	90,372
セグメント利益	5,899	461	6,361	49	6,411	△1,732	4,679

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,732百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,718百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。